

令和 4年度 事業計画書

事業局課	環境創造局	緑地保全推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	1-2-1 1
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他					
歳出予算科目	みどり保全創造事業費	会計	1	款	2	項
事業名称	緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源等	
		国	県	基金繰入金	その他	市債	一般財源
令和4年度	3,748,137	1,013,960	150		21	2,166,000	568,006
補助事業	2,974,403	1,013,960				1,958,000	2,443
単独事業	773,734		150			208,000	565,584
令和3年度	3,926,546	1,125,050	150	0	1,070	2,348,000	452,276
増△減	△ 178,409	△ 111,090	0	0	△ 1,049	△ 182,000	115,730

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 事業費	2,588,404	3,877,240	3,878,763	3,926,694	-	-	3,926,694	-	-	-	-	-
算 市債+一般財源	2,435,511	2,735,360	2,740,031	2,800,424	-	-	2,800,424	-	-	-	-	-
決 事業費	2,540,146	3,806,729	3,905,200									
算 市債+一般財源	2,429,672	2,710,723	2,825,010									

事業概要	市内に残る貴重な緑地について、緑地保全制度の地区指定を積極的に進めるとともに、特別緑地保全地区や市民の森等の指定地で、法に基づく買入れ申し出や、不測の事態により所有者から買入れ申し出があった場合に対応します。また、民有山林である市民の森、ふれあいの樹林、緑地保存地区、源流の森保存地区の所有者に奨励金等を支出します。
事業開始年度	昭和44年・昭和46年度

根拠法令・方針決裁等	都市緑地法、首都圏近郊緑地保全法、緑の環境をつくり育てる条例、横浜市市民の森設置事業実施要綱／横浜市緑地保存事業実施要綱／横浜市源流の森保存事業実施要綱、横浜市市民の森設置事業実施要綱／ふれあいの樹林設置事業実施要綱、(財)かながわトラストみどり財団緑地等保全事業の助成に関する要綱
------------	---

事業目的・効果 (必要性)	みどりアップ計画[2019-2023]に基づき、まとまりのある樹林地を保全して次世代に引き継ぐため、5か年で300haの指定を目指して、特別緑地保全地区を始めとする緑地保全制度への指定を積極的に進めます。また、特別緑地保全地区等の指定地で、不測の事態等が発生し、本市への買入れ申し出があった場合には、樹林地の買取りに対応します。
------------------	--

根拠・データ等	横浜みどりアップ計画[2019-2023] (平成30年11月) 横浜みどりアップ計画[2019-2023] 事業報告書 緑被率 (令和元年度調査結果)
---------	--

事業指標		年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
緑地保全制度の 新規指定面積	単位	目標	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	-	-
	ha	実績	47.2	28.9					
緑地保全制度の 買取り等面積	単位	想定	23.0	23.0	22.6	22.5	22.5	-	-
	ha	実績	19.2	18.9					
	単位	目標							
		実績							

事業スケジュール	・年間を通じて、緑地保全制度の指定を進めるとともに、買入れ申し出に対応 ・奨励金等については、随時執行する
----------	--

(単位：千円)

細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
細事業 (事業内訳)	① 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り	3,253,955	3,627,743	▲ 373,788	買取り想定金額の減
	② 緑地保全地区等奨励金	494,182	298,803	195,379	対象面積の増
細事業合計		3,748,137	3,926,546	▲ 178,409	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	関口 昇	宇野 絃子	野本 武頌

令和 4 年度 事業計画書

事業局課	環境創造局	みどりアップ推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	1-2-1 2
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他					
歳出予算科目	みどり保全創造事業費	会計	1 款	2 項	1 目	
事業名称	良好な森の育成事業					

(単位：千円)

区分	金額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入		市債	一般財源
令和4年度	163,745			6,458			157,287
補助事業 単独事業							0
令和3年度	161,649			6,521			155,128
増△減	2,096	0	0	△ 63	0	0	2,159

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 算	事業費	161,060	161,438	160,932	165,382		
	市債+一般財源	161,048	159,437	158,171			
決 算	事業費	151,879	138,688	155,154			
	市債+一般財源	151,841	132,102	146,758			

事業概要	みどりアップ計画により保全した森を次世代に引き継いでいくため、森に期待される多様な機能が発揮できるよう良好な森づくりを進めます。							
事業開始年度	平成21年度							
根拠法令・方針決裁等	緑の環境をつくり育てる条例/横浜市民の森設置事業実施要綱/ふれあいの樹林設置事業実施要綱/都市公園法/横浜市公園条例							
事業目的・効果 (必要性)	都市における緑には、生物多様性の保全、快適性の確保、良好な景観形成、防災・減災など多くの機能や役割があります。これらを次世代に引き継いでいくためには、これらの機能や役割に配慮した良好な森づくりが求められます。このため、地域の特性を踏まえ、愛護会等と連携して保安全管理計画を策定し、森づくりガイドラインを活用した維持管理を進めます。							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> ・管理面積（樹林地） ＜実績推移＞元年度812.6ha、2年度828ha、3年度847.3ha（見込）、4年度869.9ha（見込） ・緑地保全制度の新規指定面積 ＜実績推移＞元年度47.2ha、2年度28.9ha、3年度60ha（見込）、4年度60ha（見込） ・緑地保全制度の買取等面積 ＜実績推移＞元年度19.2ha、2年度18.9ha、3年度22.6ha（見込）、4年度22.6ha（見込） 							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
森づくりガイド ライン等を活用 した維持管理	単位	目標	推進	推進	推進	推進	推進	-
	か所	実績	141	160				
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・平成21年度：事業開始 ・令和4年度 ①森の多様な機能に着目した森づくりの推進：通年 							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
①	森の多様な機能に着目した森づくりの推進	163,745	161,649	2,096	管理面積の増
	細事業合計	163,745	161,649	2,096	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	小田嶋 鉄朗	清水 恭子	竹内 章裕

令和 4 年度 事業計画書

事業局課	環境創造局	みどりアップ推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他				
歳出予算科目	みどり保全創造事業費	会計	1 款	2 項	1 目
事業名称	森を育む人材の育成事業				

(単位：千円)

区分	金額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入	基金繰入金	市債	一般財源
令和4年度	1,000	0			0		1,000
補助事業 単独事業							0
令和3年度	1,000				0		1,000
増△減	0	0	0	0	0	0	0

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	0	1,000	1,000	1,000		
決算	市債+一般財源	0	1,000	1,000	1,000		
予算	事業費	0	957	968			
決算	市債+一般財源	0	957	968			

事業概要	間伐材を活用する研修を開催し、森づくり活動団体の活動で発生する間伐材の有効活用を推進します。							
事業開始年度	平成21年度							
根拠法令・方針決裁等	横浜市協働による森づくり要綱							
事業目的・効果 (必要性)	<p>【事業目的】 本事業では、市民や事業者と市の協働により森を育む取組を進めるため、森づくり活動に取り組む市民や団体を対象に、活動のための知識や技術に関する研修を実施し、森を育む「人」を育てます。 また森づくり活動を行う団体を対象に、活動に必要な支援として研修を行い、発生する間伐材の有効活用についての推進します。</p> <p>【効果（必要性）】 (1) 市民の協働により、横浜の森を次世代に引き継ぐことができます。 (2) 市民協働により、良好な森を育成することができます。</p>							
根拠・データ等	横浜の緑に関する市民及び土地所有者意識調査（2017年7月～8月） 横浜みどりアップ計画[2019-2023]（平成30年11月） 横浜みどりアップ計画[2019-2023] 事業報告書							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
間伐材マネジメント研修	単位	目標	1	1	1	1	1	-
	箇所	実績	1	1				
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	・平成21年度：事業開始 ・令和5～7年度：研修の継続							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	森づくり活動団体への支援	1,000	1,000	0	
細事業合計			1,000	1,000	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	小田嶋 鉄朗	山崎 紘子	草野 泰隆

令和 4年度 事業計画書

事業局課	環境創造局		みどりアップ推進課		新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	1-2-1 3
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費		<input checked="" type="checkbox"/> その他					
歳出予算科目	みどり保全創造事業費 会計		1	款	2	項	1	目
事業名称	市民が森に関わるきっかけづくり事業							

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源	
令和4年度	41,764						41,764
補助事業 単独事業							0
令和3年度	40,000						40,000
増△減	1,764	0	0	0	0	0	1,764

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 算	事業費	40,000	42,740	42,740	40,000		
	市債+一般財源	40,000	42,740	42,740	40,000		
決 算	事業費	37,262	37,921	39,865			
	市債+一般財源	37,262	37,921	39,865			

事業概要	横浜の森について理解を深め、さらには行動につなげるため、森に関するイベントや情報の発信の拠点として市内5か所でウェルカムセンターを運営し、市民が森に関わるきっかけを提供します。							
事業開始年度	平成26年度							
根拠法令・方針決裁等	ウェルカムセンター運営事務取扱要領、地方自治法							
事業目的・効果 (必要性)	<p>事業目的 森に関わるきっかけとなり、環境を学ぶ機会にもなる講座・イベントや広報の取組を展開することで、普段森に関わることの少ない市民へ森の魅力を伝え、森に関わる市民の裾野を広げます。</p> <p>効果(必要性) 市内5館にあるウェルカムセンターでは、各館の特徴を生かしながら専門職員がウェルカムセンターの展示施設を活用し、森を安全に散策するための情報や森の生きもの情報等を発信する「森の情報提供」、森を知り、楽しむための講座等を開催する「普及啓発・環境教育」を行います。運営にあたっては意見交換会を行うなどウェルカムセンター5館の連携を高め、効果的に進めていきます。また、ウェルカムセンター周辺の緑を活用したイベント等を開催することで、市民の森の利用者の増加等、市民が森に関わる機会が増え、森に対する理解がより深まることが期待されます。</p> <p>【ウェルカムセンター5館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横浜自然観察の森 自然観察センター ・にいはる里山交流センター ・舞岡ふるさと村 虹の家 ・寺家ふるさと村 四季の家 ・環境活動支援センター交流スペース 							
根拠・データ等	横浜の緑に関する市民及び土地所有者意識調査(2017年7月～8月) 横浜みどりアップ計画[2019-2023](平成30年11月) 横浜みどりアップ計画[2019-2023]事業報告書							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
周辺の緑を活用したイベント等	単位	目標	10	10	10	10	-	-
	回	実績	8	8				
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	ウェルカムセンター5館運営：通年							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	森に関する情報発信	41,764	40,000	1,764	委託内容の変更による増
	細事業合計	41,764	40,000	1,764		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	小田嶋 鉄朗	山崎 紘子	新井 紀子